東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所 2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年10月11日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の 不具合が対象になります。

2019年10月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【G6タンクエリアのD9タンクの変形について】 G6タンクエリアの新設したタンク3基(G6-D6, D7, D8)の水張り・漏えい確認のため、隣のタンク(G6-D5とG6-D9)から多核種除去設備の処理水を移送していた際、通常よりも大きい音を確認。 現場確認の結果、D9タンクの上部に変形および約20mmの穴を3カ所確認。 この損傷に伴う周囲への漏えいは無く、周辺モニタリングポストに変動がないことを確認。 当該タンクを調査するため、配管接続部にあるフランジを外したところ、フランジ面の内側に本来は外されているべき養生テープが残ったまま施工されていたことを確認。 これにより、処理水を移送する際、空気が通らず負圧となり、天板が損傷したと推定。 当該タンクの穴について、雨対策の養生を実施。 今後、原因を調査予定。	GI	10月8日
2	【6号機原子炉建屋 給気設備給気風量(A)調整器のデジタル表示の不良について】 6号機原子炉建屋 給気設備給気風量(A)調整器のデジタル表示の一部が表示されないことを確認。 デジタル値以外にバーグラフがあり、数値を確認することが可能。 風量調整の操作は可能で、系統に影響なし。 原因は、デジタル表示の一部劣化と推定。 今後、修理または交換予定。	GⅢ	10月7日
3	【雑固体廃棄物焼却設備 高性能フィルタ給気室の均圧扉の不具合について】 雑固体廃棄物焼却設備 高性能フィルタ給気室の均圧扉のグレモン錠※を「開」から「閉」としたところ、ハンドルが完全 にロックされないことを確認。 今後、点検・修理予定。 ※グレモン錠:レバーハンドルとロックが連動している錠	GⅢ	10月7日
4	【雑固体廃棄物焼却設備 均圧室の均圧扉の不具合について】 雑固体廃棄物焼却設備 均圧室の均圧扉のグレモン錠※を「開」から「閉」としたところ、ハンドルが完全にロックされないことを確認。 今後、点検・修理予定。 ※グレモン錠:レバーハンドルとロックが連動している錠	GⅢ	10月7日
5	【道路横断部の残置配管管理の不備について】 検査官パトロールにて、H3タンクエリア道路横断部の残置配管について指摘あり、その管理方法について不備を確認。 現在、類似箇所について調査中。 発見した類似箇所については、管理箇所の表示及び養生等を実施中。 また、使用用途等の確認を行い、撤去の可否等の検討を実施中。	GⅢ	10月7日